平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールIB (SeminarIB)【卓ゼミ】		授業コード	E002583	
担当教員名			科目ナンバリン グコード	E21202	
配当学年	2	開講期	後期		
必修•選択区分	必修	単位数	2		
履修上の注意また は履修条件	日経STOCKリーグに参加するためのレポートを作成するには、ゼミナールIIAにおける証券投資理論の学習や入賞作品の研究報告などが必要となるため、ゼミナールIIBからの途中参加はご遠慮ください。				
受講心得	予備知識は特に前提としませんが、積極的に取り組む姿勢が必要です。また、日頃から、日本経済新聞に目を通し、経済、金融、株式に関する記事に触れておきます。 講義ではテキストの報告、株式模擬取引の経過報告、新聞記事報告などを交代で行なうため、 相応の時間をかけ、準備することが求められます。レポートを作成する時期には、グループごと にサブゼミを行ない、レポート作成に取り組んでもらいます。				
教科書	その都度紹介します。				
参考文献及び指定 図書	その都度紹介します。				
関連科目	金融論				

授業の目的	金融論の基本的なテキストや入賞レポートをチーム(3~5名)で輪読することで、基礎的な知識を修得します。その後、修得した知識に基づいてレポートを作成することを通じ、文章表現能力、データの収集・加工・分析能力を修得し、さらに、チームでの作業となるため、協同作業をし、お互いにコミュニケーションできる能力を身に付けます。また、レポート作成に必要な業界研究、とりわけ、金融業界の研究を行なうことで、早期の段階から、キャリア意識を持って、就職活動に臨めるようにします。
授業の概要	日経STOCKリーグに参加するためのレポートを作成することで、(1)証券投資を中心に金融全般に関する基礎理論を学んでいくことと、(2)それらの基礎理論を応用して、実際に自分が証券投資を行なう場合の投資戦略や投資家の証券投資行動が企業や実体経済に与える影響などについて、チーム(3~5名)で具体的な調査・分析・レポート作成の実践に挑戦することの二つを行なっていきます。

〇授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : グループ学習⑤ レポート第1章推敲	
レポート第1章を作成します。	レポート第1章を作成してく ださい(3時間)。その内容 について次の授業でコメン トします。
第 2 週 : レポート第1章再報告①(2チーム)	
第1章についてチームプレゼンテーションを行なった後、内容などに関するディスカッションを実施します。	報告資料を作成してください(4時間)。その内容について次の授業でコメントします。
第 3 週:レポート第1章再報告②(2チーム)	
第1章についてチームプレゼンテーションを行なった後、内容などに関するディスカッションを実施します。	報告資料を作成してください(4時間)。その内容について次の授業でコメントします。
第4週:データ分析①	
データの入手方法を講義形式で説明します。	授業内容の復習と配布プリントによる予習を行ってください(1時間)。

第5週:データ分析②	
Excelによる平均、標準偏差、分散、共分散の計算を講義形式で説明します。	授業内容の復習と配布プリントによる予習を行ってください(1時間)。
第 6 週 : データ分析③ Excelによる効率的フロンティアの導出(講義形式)	
Excelによる効率的フロンティアの導出を講義形式で説明します。	授業内容の復習と配布プリントによる予習を行ってください(1時間)。
Add - NTT - 190 314 TTT © A Alle O - 1 19	
第7週:グループ学習⑥ 企業のスクリーニング 設定したテーマに基づき、企業のスクリーニングを行ないます。	報告資料を作成してください(4時間)。その内容について次の授業でコメントします。
 第8週:グループ学習⑦ 企業のスクリーニング	
まる過:グループ子首(グ) 正来のスクリーニング 設定したテーマに基づき、企業のスクリーニングを行ないます。	報告資料を作成してください(4時間)。その内容について次の授業でコメントします。
第9週:スクリーニング方法と選定企業の報告①(2チーム)	
デーマについてチームプレゼンテーションを行なった後、内容などに関するディスカッションを実施します。	報告資料を作成してください(4時間)。その内容について次の授業でコメントします。
第10週:スクリーニング方法と選定企業の報告②(2チーム)	
スクリーニング方法と選定企業についてチームプレゼンテーションを行なった後、内容な どに関するディスカッションを実施します。	報告資料を作成してください(4時間)。その内容について次の授業でコメントします。
第11週:グループ学習⑧ ポートフォリオ(配分比率)の決定①	
ポートフォリオ(配分比率)の決定を行ないます。	報告資料を作成してください(4時間)。その内容について次の授業でコメントします。
第12週:グループ学習③ ポートフォリオ(配分比率)の決定②	
ポートフォリオ(配分比率)の決定を行ないます。	報告資料を作成してください(4時間)。その内容について次の授業でコメントします。
 第13週:グループ学習⑪ レポート執筆①	
投稿するレポートを作成します。	レポートを作成してください (4時間)。その内容につい て次の授業でコメントしま す。
第14週:グループ学習⑩ レポート執筆②	
投稿するレポートを作成します。	レポートを作成してください (4時間)。その内容につい て次の授業でコメントしま す。
第15週:総括	

各自これまでの活動の内容・成果などについて感想を述べます。		
第16週: 期末試験		
実施しません。		
	(1)授業の形式	「演習等形式」
授業の運営方法	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ:地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考	進捗状況によって、講義スケジュールが若干変更する可能性があります。	

〇単位を修得するために達成すべき到達目標		
【関心・意欲・態度】	金融・証券投資に関する基礎理論などが説明できる。	
【知識・理解】	金融・証券投資に関する基礎理論などを用い、レポートを作成することができる。	
【技能・表現・コミュニ ケーション】	プレゼンテーションやディスカッションをすることができる。	
【思考·判断·創 造】	金融・証券投資という切り口から日本経済が直面する問題を考察することができる。	

〇成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評 価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【 関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」 を含む。		10点	10	点
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		20点	20点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働〈カ」「前に踏み出すカ」を含む。		10点	10点	
【 思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		10点	10点	

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安		
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安	
	プレゼンテーション実施のために作成するレジュメの内容、コンテストに参加するために作成するレポートの内容により加点します。	
発表・その他 (無形成果)	プレゼンテーション実施のなかで、その内容や質疑応答をし、その解答に対して優れた学生には加点します。	